

清水家のふつうの生活

八南小・4

清水 杏南

わたしの家の生活は、お母さんが起きる四時くらいから始まりま
す。起きたら朝ごはん。食べ終わると、テレビを見たり、またねむ
ったりするお母さんの自由時間です。

六時から、わたしたちが起きるので大いそがしです。わたしや
弟が着がえている間に朝ごはんの用意をしてくれます。六時十五分
くらいにお父さんと三人で朝ごはんを食べます。わたしと弟はペチ
ャクチャしゃべって、いつもおこられています。

食べ終わると、お父さんは歯をみがいて二階へ行ってねます。わ
たしは、トイレに行きます。そして歯をみがいてピアノをひきます。
お母さんは、せんたくきを回したり、せんたく物をほしたりしてと
てもいそがしそうです。弟は食べ終わるのがおそいので、わたしが
先にピアノをひいて、そのあと、弟とピアノをバトンタッチ。

次は、スマイルゼミという勉強をします。タッチペンをよく落と
すのでおこられます。勉強が終わると、学校へ行きます。お父さん
も仕事に行きます。これが七時三十分ごろ、お母さんはおけしよ
と着がえをして、七時五〇分くらいに家を出ます。

お母さんが帰ってくるのは、一時か二時。わたしたちが帰ってく
ると、次の日のじゅんぴや宿題をやります。プールやピアノ、ダン
スの習い事がある日は、一人です番をすることもあります。一人
の時、何かの音がするとびくってなつて、ちよつとこわいです。

宿題が終わつたら、おやつタイム。その後はテレビを見たり遊ん
だりする自由時間。そしてお風呂。わたしが先に入ることが多いで
す。二人ともお風呂から出たら、夜ごはんです。のこり物の時もあるし、パパつとうどんの時もあります。たん生日やとくべつな日は、
すごくごうかです。

その後は自由。でも

「かみの毛、かわかしなさい。」

つておこられることもあります。八時には歯をみがいて、あとはテ
レビを見たり、本を読んだり、絵をかいたりしてすごします。

お母さんはお風呂。わたしたちがねむる八時三十分ごろに、お父
さんが仕事から帰つてきます。お父さんとお母さんにおやすみを言
つて、わたしと弟の一日は終わります。

そんなあたりまえの一日が、コロナになつてがらつとかわつてし
まいました。

わたしは、ずうつとへやの中ですごしました。へやの外に出るの
はトイレとお風呂の時だけ。はじめは、ねつが高くてねてばかりい
ました。ねつといっしょに頭がいたくてしかたがなかつたです。

二、三日すると、ねつも下がつて頭もいたくなくなりました。自
由な時間はいっぱいありました。ごはんを食べる時と勉強をする時
間がいはずつと自由でした。何をしてもいい。何をしてもおこら
れない。弟にじゃまをされたり、けんかをしたりすることもありま
せん。

そう思っていたら、弟が一人でいるのはいやだと言つて、わたし
のへやですごすことになりました。弟と交代でアイパッドのアニメ
を見たり、ゲームをしたりしました。おり紙でしゅりけんを作つて

投げ合いっこをしたり、ま物とゆう者になってたたかいごっこをしたりしました。

弟の相手をするのは、ちょっとめんどくさくてたいへんでした。

外に遊びに行けないので、時々ベランダに出て、八南リズム体そうをしました。

そんな日が一週間も続きました。自由な時間はあったけど楽しくないし、弟がうっとうしかったです。

「七月三十日になったら外に出ていいよ。」とお母さんに言われました。やっとこの生活からかい放されると思いました。

七月三十日、朝、お風呂に入って、ひさしぶりにテレビを見ました。画面の大きさにびっくりしました。リビングってこんなに広がったのかと思いました。スーパーに買い物に行ったら、すずしさにおどろきました。あたり前だったことが、あたり前ではなかったことに気づきました。

みんながなおって、ふつうの生活になりました。ふつうにごはんを食べることも、あつくても外に出られることが幸せだと思えました。